

安倍9条改憲NO！ 改憲発議に反対する全国緊急署名 各地でこんな取り組みが

改題④

2020年3月31日

安倍9条改憲NO！全国市民アクション 連絡先 ☎03-3221-4668

32万6765人分の3000万人署名を提出 3月19日

全国市民アクション事務局と各団体に寄せられていた「安倍9条改憲NO！憲法を生かす全国統一署名（3000万人署名）」は、前回提出後の集約数は32万6,765人分となりました。2015年10月以来第54回となる3月19日の国会行動で、参加した立憲野党議員（立憲民主党＝森屋隆参院議員、近藤昭一衆院議員、柚木道義衆院議員、日本共産党＝藤野保史衆院議員、社会民主党＝福島瑞穂参院議員）に手渡し、国会に提出しました。

この結果、これまでに国会に提出した3000万人署名は992万3550人分となりました。

北海道 発議反対署名で改憲阻止—市民と野党が意思統一 札幌市中央区

安倍9条改憲NO！憲法を生かす3000万署名の達成をめざす札幌中央区円卓集会呼びかけ人会議はこのほど、第6回呼びかけ人会議を開きました。同会議は市民と野党41団体・個人で構成しています。この日もSTOP安倍政治！中央区実行委員会のメンバーや立憲民主党、日本共産党、新社会党の代表らも参加。3000万署名が世論づくりに大きく貢献し、改憲に踏み出させなかったことを確認、改憲発議反対の新署名を急速に広げ、署名を集めてくれる人を増やそうと話し合いました。

寺院や労働組合、女性団体など90カ所の対象を定め、訪問し、署名活動を推進することを確認しました。

北海道「コロナの裏で改憲」許さない 札幌西区戦争させない区民の会

札幌市西区の**戦争させない札幌西区民の会**は3月19日、地下鉄琴似駅前前で発議に反対する全国緊急署名を呼びかけました。掲げた「戦争は最大の人権侵害 9条改憲許すな！」の横断幕や「お友だちファーストで憲法無視安倍政治NO！」の大型ポスターが人目をひき、「新型コロナ肺炎対策 国の責任で抜本的な強化を」とのビラを配布、「新型コロナ感染症の拡大の陰で憲法を変えようとするなど断じて許せない」と訴えました。

駆け寄ってきて署名した女性は、「ポスターのとおり。安倍首相は何でもできると勘違いしている。大嫌い」と語りました。

石川県 発議許すな！ 新型コロナは25条に基づく施策で アクション・いしかわ

安倍改憲NO！市民アクション・いしかわは3月22日、金沢市内で改憲発議に反対する宣伝を行いました。行動には市民と立憲野党の代表ら20人が参加、改憲発議反対を訴えました。新型コロナの影響の広がりに対して、こういうときだからこそ憲法25条の立場でいのちを守り、暮らしを守る施策が必要なことなどが強調されました。

長野県 高田健氏講師に「安倍に負けない」と意思統一 県民過半数署名の会

長野県の憲法9条を守る県民過半数署名をすすめる会は3月4日長野市で、高田健・戦争させない9条壊すな！総がかり行動実行委員会共同代表・九条の会事務局を講師に学習会を開きました。飯田・下伊那、木曾、諏訪、佐久、上田、松本など県内各地から50人が参加しました。

高田氏は、自民党が運動方針に改憲を掲げるなど執拗に改憲を主張しているが、安倍改憲表明以来3年近く論議させないできたこと、草の根の署名運動や市民と野党の共同が阻止の力になってきたこと、安倍の任期が来年に迫る中ここが正念場であること、したがって、改憲反対の緊急署名を草の根でその速度とひろがりをもって取り組むことが決定的に重要であることを訴えました。

講演を受けて開かれた団体・地域の代表者会議では、改憲発議反対署名をいっせいに取り組むこと、5月3日を中心に草の根の集会・学習会・パレード・スタンディングなどを創意的に行うこと、国会会期末の6月7日に「憲法改正を許さない県民集会」を成功させることなどを確認しました。

(九条の会ニュース「九条の会」367号2020年3月11日付から)

千葉県「全世代型社会保障」で負担増、改憲より暮らしだ 千葉県共同センター

平憲法を守り、いかに千葉県共同センター、消費税の廃止を求める千葉連絡会、社会保障推進千葉県協議会は3月24日、千葉駅前で宣伝、3つの署名(改憲発議に反対する緊急署名、消費税を5%へ引き下げを求める署名、75歳以上の医療費負担2割化反対署名)を訴えました。署名した人は「木更津へのオスプレイ配備もある。軍事問題・基地問題は沖縄だけの問題ではない。このままだと戦争の準備ばかりだ。軍備より暮らしだ、改憲などとんでもない」と怒っていました。

埼玉県 安倍改憲阻止・政治を変えようと訴え オール埼玉と地域の会

埼玉県下の小選挙区15の内、さいたま市西区、北区、見沼区、大宮区、中央区の埼玉第5区で活動する立憲主義の回復をめざす5区市民連合とオール埼玉総行動実行委員会は3月8日、JR大宮駅西口で署名宣伝行動を行いました。

オール埼玉の小出重義実行委員長・弁護士が改憲発議反対緊急署名の重要性を訴え、「埼玉から安倍9条改憲ノーの運動を起こそう」と呼びかけました。市民が野党をつなぐ埼玉の会の野田静枝共同代表、伊藤岳日本共産党参院議員らが訴えました。熊谷裕人立憲民主党参院議員、小宮山泰子国民民主党参院議員からのメッセージが紹介されました。

第9区(飯能市、狭山市、入間市、日高市、入間郡)では7日、西武線の狭山市駅、入間市駅、飯能駅前では9区連絡会とオール埼玉総行動実行委員会が共同の宣伝。小出実行委員長、島田浩埼玉県弁護士会前会長、伊藤稔埼玉労連議長、市民が野党をつなぐ埼玉の会の田中重仁共同代表、9区連絡会飯能の長谷川順子代表とともに、国民民主党、日本共産党、社会民主党に所属する市町議員、無所属の議員らが訴えました。熊谷立憲民主党参院議員や平尾幹雄連合埼玉事務局長からはメッセージが寄せられました。

秩父市、本庄市、深谷市、熊谷市、秩父郡、児玉郡、大里郡の第11区では8日、長瀬町、寄居町で街頭宣伝を行いました。オール11区市民の会とオール埼玉総行動実行委員会の共同行動です。小出実行委員長、オール11区市民の会の小番劬共同代表ら2つの団体の代表の他、伊藤埼玉労連議長、島田埼玉弁護士会前会長、日本共産党、社会民主党、新社会党の市町議らが次つぎ訴えました。連合埼玉、立憲民主党からはメッセージが寄せられました。

埼玉県「こんな未来に」若者といっしょに緊急署名を 埼玉憲法会議が交流

埼玉憲法会議は、3月24日、改憲発議に反対する緊急署名の目標を達成しようと署名推進活動交流会を開催しました。交流会では安倍9条改憲NO!全国市民アクション運営委員の菱山南帆子・許すな!憲法改悪・市民連絡会事務局次長が講演。菱山氏は、安倍政権の暴走に怒らない若者が増えてきている現状から、若者たちの思いに寄り添い、「こんな未来にしようよ」を具体的に語り合うことが必要ではないか、と問題提起し、緊急署名の目標達成で安倍政権を葬り去る成功体験を若者たちといっしょに作ろう、と呼びかけました。

交流会にはオール埼玉総行動実行委員会の小出重義弁護士が参加し、来賓あいさつを述べました。同会議の青木勉弁護士が新型インフル特措法改定の問題点を解説しました。参加者からは、新型コロナで宣伝行動にもむずかしさがあるが、こんな時こそ工夫して安倍政権への怒りを署名にと訴えたい、などとの発言がされました。

東京都 コロナ禍 対策講じて署名宣伝 オール大塚駅前宣伝行動

3月9日は定例の**オール大塚駅前宣伝・署名行動**。アルコール消毒液などを準備するなど対策を講じて署名を呼びかけました。

行動には大塚駅周辺で活動する団体・労働組合を先頭に、11団体から36人が参加し、東京平和委員会、働くもののいのちと健康を守る東京センター、全日本年金者組合、同東京都本部、東京自治労連、自由法曹団東京支部、都区職員共済会、東京革新懇の代表がマイクで訴えました。

行動では、発議反対署名が27、社会保障と医療の充実求める署名が28よせられ、350枚のチラシ入りティッシュが受け取られました。

(東京憲法共同センター「憲法ニュース」471号2020年3月10日付から)

滋賀県 改憲発議阻止正念場 渡辺治氏迎え学習会 日野町九条の会

滋賀県蒲生郡日野町で活動する**日野町九条の会**は2月29日、総会に合わせて、渡辺治一橋大学名誉教授・九条の会事務局を講師に、総会記念講演会を開催しました。講演会には会場いっぱいの100人が詰めかけました。「改憲阻止は今年が正念場、発議反対緊急署名を軸に市民の運動で改憲を阻み、次の世代に憲法のバトンを渡そう」という講演を力に、新しい年度の活動をスタートさせる学習会となりました。

講演会には藤澤直広町長があいさつし、参加者に感銘を与えました。藤澤町長は全国首長九条の会のメンバーです。

渡辺氏の講演を聞いた参加者は、「安倍首相や自民党の思惑などがわかった。憲法は国民一人一人が自分のものにして考えるべきこと、改憲を身近なこととしてとらえないといけない」「9条に自衛隊を書き込むとどうなるか、何が問題かわかった。コロナのなかで配慮しながらの講演会の開催に感謝」「今年が大切な年ということが自覚できた。安倍政権がこれだけ必死になっている改憲の動きに対して、やるべきことをやればその息の根を止められると感じた」「草の根勝負に勝ち抜こう」などの感想を寄せています。

(九条の会ニュース「九条の会」367号2020年3月11日付から)

大阪府 緊急署名の地域ローラー作戦も駅前行動も 羽曳野総がかり行動

羽曳野総がかり行動実行委員会は3月20日、14人が参加して「安倍9条改憲NO!改憲発議に反対する全国緊急署名」の地域ローラー作戦行動を取り組みました。

2日前に手紙と署名用紙を配布した地域は羽曳野市桃山台1丁目、2丁目の約300軒。6組で訪問行動し、112軒で対話し、ポストに署名した用紙を張り付けてくれていた人の分を含め58人の署名が得られました。「9条2項を壊したらダメ」「安倍さんの政治はおかしい。テレビの報道には腹が立つばかり」「軍備が増える。軍事費より福祉や医療だ」などの対話となりました。飲み物の差し入れもありました。

19日には、全国の「19日行動」に呼応して、近鉄藤井寺駅前ですたすたや横断幕を掲げ宣伝しました。行動には20人が参加、寄せられた署名は22人分でした。

大阪府 淀屋橋で「9の日」宣伝・署名行動 大阪憲法会議・共同センター

大阪憲法会議・共同センターは3月9日、淀屋橋で定例の宣伝・署名行動を行いました。行動には17人が参加、桜リーフ、緊急コロナ問題ピラ 150枚を配布、改憲発議反対署名を訴えました。

(大阪憲法しんぶん速報版「平和 憲法九条」539号2020年3月11日付から)